

佐々木委員

今日の報告書の7ページに、ソーラーバンク構想の太陽光発電、県民の意見で、パネルを一括購入するというような、行政が介入して、一気に値段を下げると、パネルメーカーも苦しむ、中小企業も圧迫する懸念があるということで、こういうメーカーとか施工業者、販売業者の下には下請けもいるわけで、こういうパネルの価格を下げさせるとそういう業者が赤字でやらなければならないだとか、そういうことも起こってくるわけで、これは本当に死活問題だと思うんだけど、そういう業者にも配慮して、そういうメーカーにいろいろな意見を聞いているのか、そういう下請けまでは知らないよというのか、そこがすごく私は本当に疑問なんですけれども、それに対してはどう思っているのかお聞きします。

太陽光発電推進課長

我々も、今回の提案で、いわゆる価格至上主義で御提案を頂くというつもりはございません。やはり一定の利潤、適正な利潤とともにコストダウンといったものをいかに両立していくかといったところについて、民間の様々なアイデアを御提案いただければと考えております。そういう中では、頂きます応募の中では、それぞれそのコストの内訳、パネルの値段あるいはそのパワーコンディショナー等の附属設備、さらには設置の工事をするコスト、そういったものを御明記いただき、適正な配分といったものを確認させていただきたいと思っております。

佐々木委員

中小企業を圧迫しないと言い切れますか。

太陽光発電推進課長

我々といたしましては、JVの多様化を図るということで、できるだけ多くの中小企業の皆様に御参加いただく、そういう事業機会を提供していきたいと考えております。

佐々木委員

最後に、さっき質問があったように、NPOを一つの法人に限ると言っていましたよね。何でそうする必要があるのか。それと、第2次報告書の裏の学識経験者50名、この人たちが絡んでいるNPOなのか考えていたんですけれども、会長以下、学識経験者がいらっしゃいますよね。その辺でちょっと私は疑問があるんですが、何で一つの法人に絞らなければならないのか、それからこの学識経験者の中にNPO関係の人がいるのか、それをちょっと最後に伺います。

太陽光発電推進課長

委託先ということで、県が直接業務委託するということで、1者選定といったことで設置を考えています。

お話がありましたその研究会のメンバーの方にも、こういったものは、可能なかどうか、実現可能なかどうか、そういったことについて御意見を頂くことはございます。

佐々木委員

終わります。